

## 林道事業再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	いくみやえじせん 生実八重地線																	
事業主体	徳島県	関係市町村	上勝町																	
事業	<b>【目的】</b> ・本路線は、勝浦郡上勝町大字生実字母瀬の町道剣山線を起点とし、山犬嶽から高丸山に続く稜線を通過して上勝町大字旭字道辻の町道高丸山線に至る森林基幹道である。 ・周辺の県道、町道、林道に連絡しており、豊富な森林資源に対する合理的な森林経営のための基盤として位置づけられ、森林整備の推進により森林の持つ公益的機能の維持増進を図ることを目的としている。 また、大規模災害時には県道の迂回路としての役割も期待されており、地域にとって欠くことのできない非常に重要な路線である。																			
	<b>【内容】</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">利用区域面積</td> <td style="width: 20%;">1,324ha</td> <td style="width: 50%;">[人工林面積:1,059ha (80%) ]</td> </tr> <tr> <td>受益戸数(森林所有者数)</td> <td>380戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>4.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画延長</td> <td>17,700m</td> <td>(うち令和5年度末の供用予定延長 13,988m)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>5,200,000千円</td> <td>(うち令和5年度末の実施予定事業費 4,097,989千円)</td> </tr> <tr> <td>事業予定期間</td> <td>昭和62年度～令和18年度</td> <td>(50年間)</td> </tr> </table>			利用区域面積	1,324ha	[人工林面積:1,059ha (80%) ]	受益戸数(森林所有者数)	380戸		幅員	4.0m		計画延長	17,700m	(うち令和5年度末の供用予定延長 13,988m)	総事業費	5,200,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 4,097,989千円)	事業予定期間	昭和62年度～令和18年度
利用区域面積	1,324ha	[人工林面積:1,059ha (80%) ]																		
受益戸数(森林所有者数)	380戸																			
幅員	4.0m																			
計画延長	17,700m	(うち令和5年度末の供用予定延長 13,988m)																		
総事業費	5,200,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 4,097,989千円)																		
事業予定期間	昭和62年度～令和18年度	(50年間)																		
評価	<b>【事業の進捗状況】</b> 昭和63年度より工事着工し、令和5年度までに、起点側の生実工区で7,215m、終点側の八重地工区で6,773m、計13,988mが供用が開始され(予定も含む)、進捗率は79.0%となっている。 <div style="text-align: right;">[進捗率:79%]</div>																			
	<b>【関連事業の整備状況】</b> 供用開始区間においては、作業道が整備され、間伐材の搬出等木材生産が盛んに行われるなど、これまでに延べ1,059haの森林整備が実施されており、今後も低コストで効率的な林業生産が期待される。																			
	<b>【社会経済情勢の変化】</b> 本県は県土の4分の3を森林が占め人工林率も約60%と高い。森林資源量はこの40年間で約3倍にまで増加し、その大部分が利用可能な状態まで成長している。県では、利用期を迎えた豊富な森林資源を活用するとともに、カーボンニュートラルにも資する森林循環(伐って、使って、植える)を進めることにより、森林・林業を「核」とした「地方創生」の実現を目指している。 木材を安定的に生産・供給し、林業・木材産業の成長産業化を図るには、搬出コストの低減が必須であり、高性能林業機械の導入や効率的な木材輸送のための、林道を基幹とした路網整備が強く求められている。																			
	<b>【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】</b> 無し																			
項目	<b>【事業効果の発現状況】</b> 供用を開始した区間において、これまでに間伐をはじめとして延べ約1,059haの森林整備が実施され、間伐材の搬出が増え、今後は「新次元林業プロジェクト」により、間伐85ha、材積では6,746m <sup>3</sup> の搬出を計画している。 また、供用区間の増加に伴い、森林へのアクセス改善による高性能林業機械を導入した森林施業が行いやすくなることから、森林施業が進んでいく見込みである。 <div style="text-align: center;">[費用対効果] 1.99 (国の採択基準は1.0以上)</div>																			
	<b>【受益者・関係機関の意向】</b> ・関係町村をはじめ地元より事業の早期完成を強く望まれており、期成同盟会の活動も活発である。 ・また、緊急時の避難路及び迂回路の機能も持ち合わせており注目されている。																			
目	<b>【事業の実施方針】</b> 継続して事業を実施する。																			